

2年生「スイミー」関連図書紹介

国語の「スイミー」の学習で、作者のレオ＝レオニの他の本の紹介をしました。

【レオ・レオニ(1910年～1999年)】

レオ・レオニは1910年オランダに生まれました。イタリアで暮らした後米国に亡命し、NYでイラストレーター・グラフィックデザイナーとして活躍しました。第一線のグラフィックデザイナーとして活躍していた49歳の時、孫のために作ったのが「あおくんときいろちゃん」で、これがレオニの最初の絵本となりました。「スイミー」「フレデリック」「アレクサンダとぜんまいねずみ」3作品でカルデコット賞を受賞。その他にも米国、ドイツなどでたくさんの賞を受賞しています。日本でも多くの絵本が翻訳出版され、親しまれています。



仲間のねずみたちが、冬に備えて木の実などを貯えているのに、フレデリックだけは何もせずに、ぼんやりとしています。でも長い冬、野ねずみたちの心を助けたのはフレデリックでした――。



しゃくとり虫は、いろいろな鳥の寸法をはかってあげることができますが…。最後に登場するいじわるなナイチンゲールの難題を、どのように切り抜けるのでしょうか。

さかなは さかな



おたまじゃくしはかえるになって、おさななじみの魚を訪ねて来ました。かえるの話聞いて世の中を見なくなった魚は、かえるのまねをして、池を飛び出しましたが、さあ大変…。

ワニなのに立って歩くコーネリアス。さるから、逆立ちや木にぶらさがることを教えてもらって得意になってマスターします。でも仲間にそのわざを見せても、「へえ それで」というばかり。でも、やがて・・・。



子どもに大事にされているおもちゃのぜんまいねずみがうらやましい、本物のねずみのアレクサンダ。ある日願いをかなえてくれる虹色のとかげと出会います。アレクサンダがとかげにした願いとは・・・。



じぶんだけの いろ



カメレオンは、悩んでいました。「どうして他の動物と違って、自分には決まった色がないのだろうか」。自分だけの色を探す彼は、春になって、すばらしい答えを見つけます。

今、2年生は、お気に入りの1冊を見つけて何度も読み、自分のお気に入りの本を友だちに紹介する作文を書いています。